



ロータリーは機会の扉を開く

RI会長:

ホルガー・クナーク (ドイツ)

国際ロータリー 第2500地区 第3分區

Asahikawa Morning Rotary Club

2020～21年度 第1264回 例会報告

例会日: 2020年10月01日 (木) 時間: 10:30～11:50

例会場: 職場訪問例会 : 旭川市総合防災センター

2500地区ガバナー
ランクアップをしよう
松田 英郎 (富良野)

クラブ活動方針『未来に紡ぐ』 クラブ会長:木村 和哉・幹事 坂本 信一

プログラム

職場訪問移動例会

旭川市総合防災センター

センター内会議室にて例会及び施設内見学、案内を受け、また、旭川市防災センターの本部概要・予算・組織・消防車両・水利・火災・救助・予防などの取り組みについて説明を受け素晴らしい学の例会であった。

会長挨拶 木村和哉



おはようございます！

本日は旭川市総合防災センターの職場訪問をお受け入れいただきありがとうございます。また、うちわですが武田委員長、朝倉委員長、高見会員ご尽力いただきありがとうございます。日々私たちの暮らしを支えていただいている防災中核施設ということで見学を楽しみにしていると同時に感謝を忘れずしっかりと学



んで行きたいと思っております。

改めて、貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。本日もよろしくお願ひいたします。

職業奉仕朝倉直博委員長挨拶

皆さんこんにちは。本日はお忙しい中、ご参集頂きましてありがとうございます。新型コロナウイルス発生以来、三密を避けていた関係で対外的移動例会の事業は開催出来ておりませんでした。今回、高見会員のお力添えをいただき、本日の移動例会が旭川市総合防災センターで実行できましたこと大変嬉しく思っております。あわせて、この計画の段階から奉仕プロジェクト委員会武田委員長にもご指導をいただきありがとうございました。本日は旭川市総合防災センター藤原次長様をはじめ、警防課 葛西主幹様、指令課金子指令課長様、その他、職員の皆様にもお世話になります。



聞く事によりますと旭川モーニングロータリークラブがこの防災センターで移動例会を開催したのは初めての様です。メンバーの皆様も色々初めてのお話があると思いますが、消防職員の皆さんの日常のご苦勞や身体造り、訓練等々、身近なことですが、日々、市民の安全を守ってくださっている皆様のお話を聞き、私たちの生活の中でも役立てて頂ければ幸いです。本日は宜しくお願ひ致します。



施設見学 (3階) 消防防災指令センター、防災課、災害対策室、指令課通信指令室

否通知でも場所の特定はできるが半径300メートル以内。携帯電話はGPSをオンにしておくことをお勧めします。

通報システムは当初7億円の予定だったが、予算合わず、それでも現在の設備だけで2億円はかかった。通報した時点で消防職員は動いていて市内平均7分で到着できるシステムで行動している。

施設見学

〈1階〉エントランスホール、コミュニティーホール、消防団水防倉庫(各種資機材庫) 消防服に関して

初期の消防服は耐火、防寒にも弱かったが、現在の消防服は平成19年から変わり両方ともある程度クリアできていて、夏場は保冷剤などを服に入れて訓練などもしているようです。

*防災安全部の川上様に施設内の案内説明をいただきました。



昔の消防器具(消防車)



昔は布バケツに水を入れ、ポンプ式消防荷台で消火していた。現在は車のエンジンを利用し消火活動している。

はしご車の人が乗るところの先端に付いているアンテナは建物に当たらないようセンサーになっている。



災害対策備品コーナー



体育館

四角い引き出しのようなものはベッドになっており20人以上寝泊まりできるようになっています。また資材、災害時の必要物資なども体育館から直接車に運べるよう入口が複数ある。

備品庫

非常時備品、災害緊急時、何時でも搬出できるようにキャスター付き台車に整理保管されていた。



旭川市総合防災センター概況説明と役割

本部概況、予算・組織、消防車両・水利、火災救急救助、予防などの説明を受ける。

総合防災センターは、防災公園の機能を持つ東光スポーツ公園(東光)の中にあり、火災や救急等のほか、地震等の大規模な災害時に対応する機能を備えています。また、洪水等の災害時に対応する国の河川防災ステーション機能を併せ持っていて、市内やその近郊における様々な災害対策の活動拠点としての役割も果たしています。



『ロータリーの友 10月号の紹介』

☆RI会長メッセージ ホルガー・クナーク

横書き P3

☆シリーズ この人を訪ねて

縦書き P9~

☆コロナ禍での自然災害:各地からの思いをつなぐ 横書き P7~
熊本豪雨におけるロータリー災害復旧支援活動を紹介します。

佐々木 義朗さん(千歳ロータリークラブ)
北海道の支笏湖のほとりで創業 100 年越えの歴史を誇る老舗丸駒温泉旅館の 4 代目社長。

☆10 月「は米山月間です米山記念奨学会のあゆみ 横書き P13~
今年度から新たに就任しました 3 人のよねやま新田大使のご紹介

コロナ禍でキャンセル続出悩むも一日も休まず営業

☆世界のロータリープロジェクト 横書き P18~
フランス・ケニア・インド・メキシコ・アメリカ

☆卓話の泉 横書き P13

☆大人の着こなし図鑑テーマ『レディースジャケット』横書き P20~
☆地域と共に歩む経営 縦書き P4~

* 旭川モーニングRC 出席報告 *

* 本日の出席 第 1265 回 例会 総員 22 名	出席 14 名 出席率 63.64%
* 修正出席 第 1262 回 例会 総員 22 名	8 月 16 日分 出席 21 名 出席率 95.45%
* ビジター	ございません
* ゲスト	ございません
* メークアップ	9/29 林 雅美(旭川西RC)

(株)セコマ代表取締役会長 丸谷 智保

北海道内 179 市町村のうち、175 の地に出店し、顧客満足度ではここ 4 年連続して全国第一位

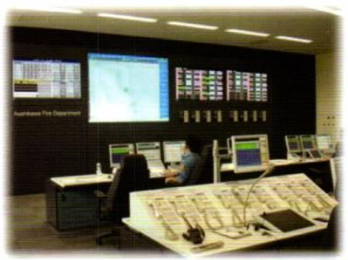
“今月もしっかり(友)を読んでロータリーを理解しよう”

本日の例会風景



消防防災指令センター

火災や救急等の119番通報を受報し、消防車や救急車の出動を指令します。



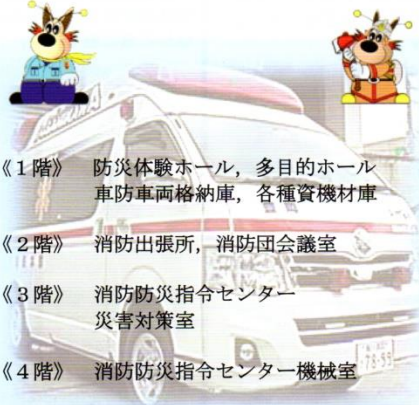
災害対策室

災害時には、市長をはじめ、自衛隊、開発建設部、警察等が集まり、災害情報の集約、市民に対する避難指示、被災住民の救護等の重要な任務にあたります。



旭川市総合防災センター中核施設 旭川地区河川防災ステーション併設

- 【建築面積】 2,682㎡
- 【延べ面積】 4,959㎡
- 【構造】 鉄筋コンクリート造
- 【耐震等級】 8-22
構造体：I類
建築非構造部材：A類
建築設備：甲類
- 【階数】 地下1階・地上4階
- 【高さ】 18.09m（アンテナ用鉄塔を除く）



- 《1階》 防災体験ホール、多目的ホール
車防車両格納庫、各種資機材庫
- 《2階》 消防出張所、消防団会議室
- 《3階》 消防防災指令センター
災害対策室
- 《4階》 消防防災指令センター機械室

地震・水害からみんなの暮らしを守る
広域防災拠点施設として24時間365日稼働

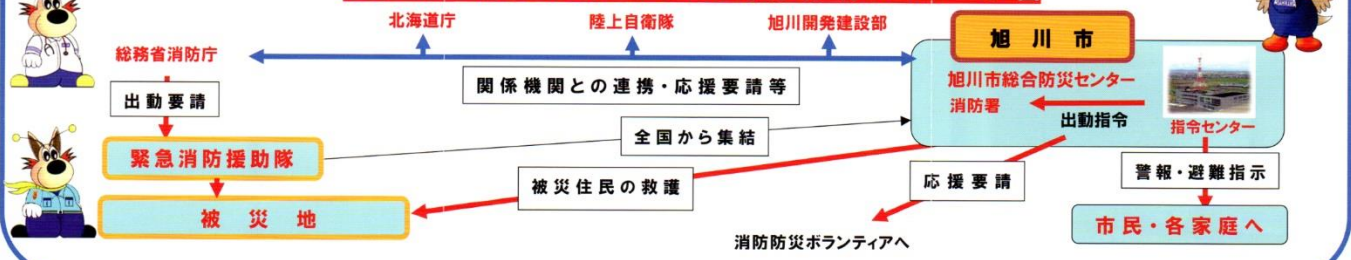
旭川市総合防災センター 旭川地区河川防災ステーション



旭川市消防本部
旭川市総合防災センター 旭川市東光27条8丁目
TEL:0166-33-0119 FAX:0166-33-9905

地震をはじめとする大規模な災害等から、市民の生命、身体及び財産をまもるための各種機能を有するほか、平常時には防災に関する研修、訓練の場、また地域住民の防災活動拠点として活用します。

大規模自然災害等における対応体制のイメージ図



消防団水防倉庫



浴槽

地震や水害等の災害時に使用する各種資機材等を収納・備蓄します。また資機材搬出後、このスペースは浴槽として使用でき、災害時には入浴設備となります。



消防団会議室

エントランスホール

災害時の非常持ち出し品、大正時代の防火服や腕用ポンプなどを展示し、消防の歴史などを学ぶことができます。また、消火器を使った消火体験や、はしご車に乗ったり、子供用の防火衣を着ることができます。



展示コーナー

はしご車

消火体験コーナー

ヘリポート



北海道防災ヘリ「はまなす2号」